



令和元年東日本台風の災害支援状況①

○ 令和元年東日本台風の被災直後より災害対策本部を設置し、要請のあった**11団体12施設**に対して、**簡易な生物処理を開始するまでに、延べ約500人のJS職員を派遣**するとともに、現在も被災団体への災害支援を継続

JS支援施設の復旧状況(代表箇所を图示)



■ 下水処理場

No	都道府県	市町村	施設名
1	岩手県	野田村	野田浄化センター
2	栃木県	鹿沼市	粟野水処理センター
3	長野県	千曲川流域	上流処理区終末処理場
4	長野県	千曲川流域	下流処理区終末処理場
5	長野県	上田市	丸子浄化センター
6	長野県	中野市	上今井浄化管理センター
7	長野県	佐久市	佐久市下水道管理センター
8	千葉県	茂原市	川中島終末処理場

■ ポンプ場

No	都道府県	市町村	施設名
9	岩手県	山田町	前須賀ポンプ場
10	宮城県	名取市	堀内中継ポンプ場
11	長野県	飯山市	有尾汚水中継ポンプ場
12	千葉県	茂原市	道目木中継ポンプ場

※8及び12は、10/25低気圧の接近に伴う大雨による被災箇所

JSから団体への派遣実績(~R元. 11)

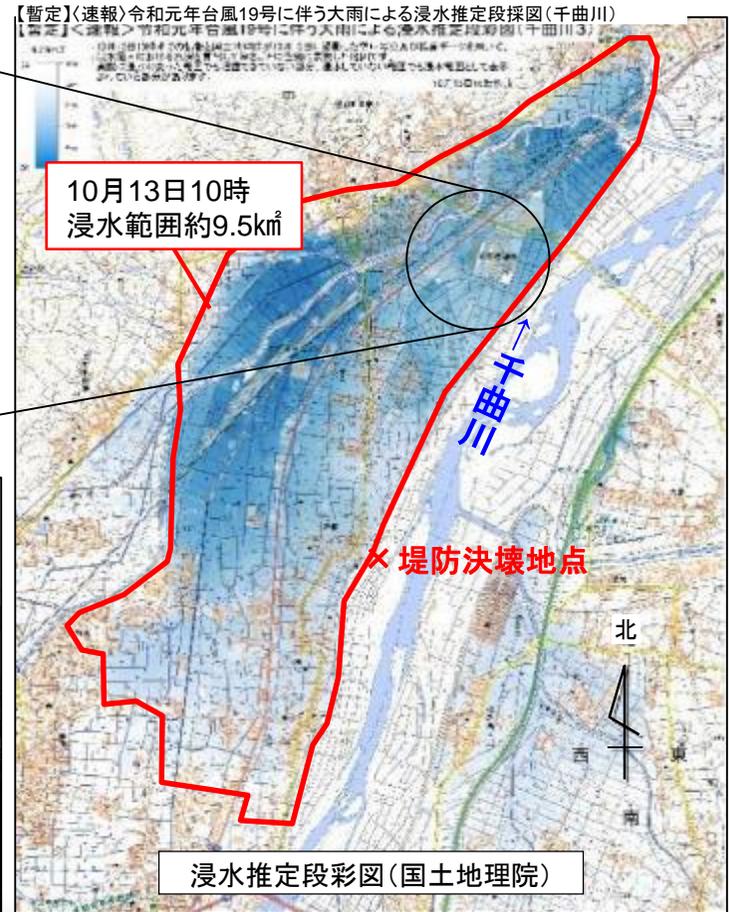
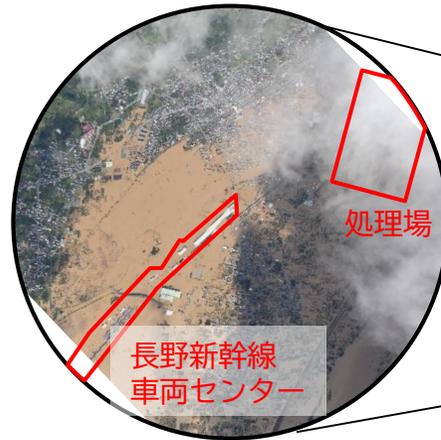
都道府県	市町村	延べ人数
岩手県	山田町	58
岩手県	野田村	53
宮城県	名取市	53
福島県	阿武隈川流域	8
栃木県	鹿沼市	13
長野県	千曲川流域	213
長野県	上田市	10
長野県	中野市	14
長野県	佐久市	25
長野県	飯山市	11
千葉県	茂原市	24
合計(延べ人数)		482





令和元年東日本台風の災害支援状況②

- 令和元年東日本台風では、各地で観測記録を塗り替える大雨になり、特に千曲川流域では総雨量が300mmを越える大きなものとなり、千曲川本川の堤防が決壊
- 千曲川流域下水道下流処理区終末処理場は、場内全体が水没し、1階から地下階に設置されていた設備機器等が甚大な被害を受け、下水処理機能が停止



↑ 千曲川流域下水道下流処理区終末処理場の浸水状況 (航空写真)



場内の水没状況→ (管理棟から撮影)

